

# 第27回環境情報科学 学術研究論文発表会

— 同時開催 第10回環境情報科学ポスターセッション —

※造園CPD認定プログラム

標記の学術研究論文発表会を下記のとおり開催いたしますので、ふるってご参加ください。

日 時： 2013年12月6日（金）10:25～18:30（受付開始 10:00）  
※ 学術研究論文発表会セッション時間（10:30～16:30）  
※ ポスターセッション質疑応答時間（11:00～13:00）  
※ 研究者交流会（17:00頃～18:30）〈予定〉

会 場： 日本大学会館大講堂ほか  
〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目8番24号  
TEL. 03-5275-8110

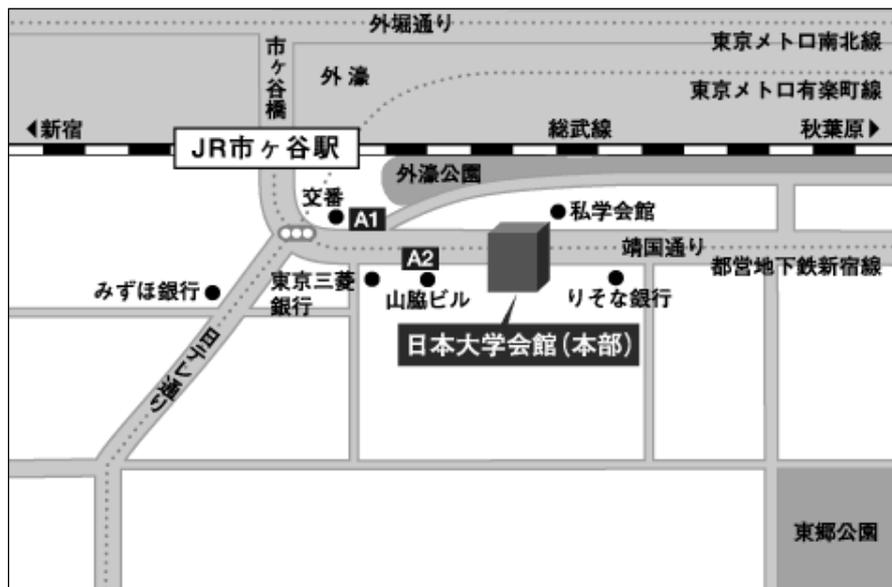
内 容： 環境科学に関する研究論文発表 65 題  
環境科学に関するポスターセッション 32 題  
研究者交流会

参加費： 正会員 2,000 円・準会員 1,000 円・一般 3,000 円・一般学生 1,500 円  
研究者交流会（希望者のみ） 正会員・一般 3,000 円  
準会員・一般学生 2,000 円  
※賛助会員は正会員価格でご参加いただけます。

## ◆参加申し込み・問合せ先◆

一般社団法人環境情報科学センター 事業推進室  
〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-7いちご九段三丁目ビル  
TEL: 03-3265-3916 FAX: 03-3265-3955 E-mail: info@ceis.or.jp  
URL: <http://www.ceis.or.jp/>

## ◆会場地図◆



出典) [http://www.nihon-u.ac.jp/access\\_map/](http://www.nihon-u.ac.jp/access_map/)

## 【交通】

JR 市ヶ谷駅下車 徒歩2分、東京メトロ・都営地下鉄 市ヶ谷駅下車 徒歩2分

**A会場**

※当日の座長は変更になる可能性があります。

10:00	受付開始			
10:25	委員長開会挨拶			
		(掲載頁)	セッションテーマ	座長
10:30~10:45	1 奈良県吉野山におけるヤマザクラ樹林景観の開花期間に及ぼす気象要素の影響 飯田 義彦(京都大学大学院地球環境学舎)ほか	pp.1~4	動植物-1(植物)	長坂貞郎 (日本大学生物資源科学部)
10:45~11:00	2 Architectural differences among shaded saplings of four evergreen broad-leaved tree species in Japan ルトフォル ラーマン(千葉大学大学院園芸学研究所)ほか	pp.5~10		
11:00~11:15	3 暖温帯における塩生植物群落の分布特性に関する研究 上田 萌子(兵庫県立人と自然の博物館)ほか	pp.11~16		
11:15~11:30	4 希少種ミズニラの保全・管理に向けた基礎的な生育特性把握 黒田 貴綱(日本大学生物資源科学部富士自然教育センター)ほか	pp.17~20		
11:30~11:45				
11:45~12:00				

**環境情報科学ポスターセッション (11:00~13:00 2Fロビーにて)**

13:00~13:15	5 Biodiversity assessment with camera traps: A case study of monitoring mammals at Mt. Fuji, central Japan 土光智子(横浜国立大学大学院・環境情報研究院)ほか	pp.21~26	動植物-2(動物)	加藤和弘 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
13:15~13:30	6 相模湾カタクチイワシ (Engraulis japonicus)のδ13C・δ15Nによる回遊個体群の検討 宮地 俊作(日本大学大学院生物資源科学研究科)ほか	pp.27~32		
13:30~13:45	7 谷戸におけるツチガエルの産卵場所選択 芦澤 航(日本大学大学院生物資源科学研究科)ほか	pp.33~36		
13:45~14:00				
14:00~14:15	8 Cognitive Structure of Japanese Consumers Regarding Biodiversity-Enhanced Agricultural Products (BEAPs): A Structural Equation Modeling Study 大石 太郎(福岡工業大学社会環境学部)ほか	pp.37~42	農業-1	黒田 貴綱 (日本大学生物資源科学部)
14:15~14:30	9 気候変動が圃場における水稲の生長に与える影響とその適応策に関する研究 辰己 賢一(東京農工大学大学院農学研究院)	pp.43~48		
14:30~14:45	10 ボランティア運営を土台とした小売の実態-福島県喜多方市の「本木・早稲谷 堰と里山を守る会」による「上堰米」を例として 田中 美香(東京農工大学大学院連合農学研究所)ほか	pp.49~54		
14:45~15:00				
15:00~15:15	11 稲作地域における需要者主導型農業水利サービスの事例研究 中村 中(東京大学大学院 新領域創成科学研究科)ほか	pp.55~60	農業-2	笹田 勝寛 (日本大学生物資源科学部)
15:15~15:30	12 メタン発酵消化液利用および耕作放棄地活用方法としてのヤナギ生産の可能性 森本 英嗣(東京理科大学理工学部経営工学科)	pp.61~66		
15:30~15:45	13 AE法を用いた植物体から発生する弾性波の検出に関する実証的研究 島本 由麻(新潟大学大学院自然科学研究科)ほか	pp.67~72		
15:45~16:00	14 東北地方太平洋沖地震で被災した農業用ため池の損傷実態と非破壊診断に関する実証的研究 鈴木 哲也(新潟大学自然科学系(農学部))	pp.73~78		
16:00~16:15	15 社会調査と衛星画像解析の補完的利用によるバングラデシュ・テクナフ半島の森林消失要因の分析 坂本 麻衣子(東京大学大学院新領域創成科学研究科)	pp.79~84	リモセン・GIS	土光 智子 (横浜国立大学大学院環境情報研究院)
16:15~16:30	16 PALSARを用いた建築物の空間分布に関する研究 杉本 賢二(名古屋大学大学院環境学研究科)ほか	pp.85~90		

**研究者交流会 (17:00頃~18:30<予定> B会場にて)**

**B会場**

※当日の座長は変更になる可能性もあります。

10:00	受付開始			
10:25	委員長開会挨拶 (A会場)			
		(掲載頁)	セッションテーマ	座長
10:30~10:45	1 季節別・時間別の需給構造から見た地域の再生可能エネルギーシステムの分析 栗島 英明(芝浦工業大学工学部共通学群)ほか	pp.91~96	エネルギー	遠藤 真弘 (国立国会図書館)
10:45~11:00	2 マルコフ連鎖を用いた生活行動再現による家庭エネルギー需要の推定 小澤 暁人(東京大学大学院新領域創成科学研究科)ほか	pp.97~102		
11:00~11:15	3 再生可能エネルギーの地域利用と制度設計-風力エネルギーの地域受容性を踏まえた一考察 尾形 清一(名古屋大学大学院環境学研究所)	pp.103~108		
11:15~11:30	4 病院・診療所向けリネンサプライサービスを対象としたライフサイクル評価 吉川 直樹(立命館大学理工学部環境システム工学科)ほか	pp.109~114	都市計画と 情報分析	鈴木 弘孝 (城西国際大学環境社会学部)
11:30~11:45	5 特定地域を対象とした研究論文からテーマを介した分野間の関連性を把握するための手法の開発 岩見 麻子(滋賀県立大学環境科学研究科)ほか	pp.115~120		
11:45~12:00	6 地方都市における集約型都市構造の構築に向けた課題-和歌山市でのケーススタディ 小川 宏樹(和歌山大学システム工学部環境システム学科)	pp.121~126		

**環境情報科学ポスターセッション (11:00~13:00 2Fロビーにて)**

13:00~13:15	7 輸送事業者のCO <sub>2</sub> 排出原単位のスケール効果 熊井 大((公財)交通エコロジー・モビリティ財団)ほか	pp.127~132	CO <sub>2</sub> 排出・削減	村野 昭人 (東洋大学理工学部)
13:15~13:30	8 鉄道踏切での一時停止及び徐行廃止による自動車のCO <sub>2</sub> 排出量削減効果の分析 小林 貴(中央大学大学院理工学研究科)ほか	pp.133~138		
13:30~13:45	9 国民生活時間調査とパーソントリップ調査を組み合わせた世帯の活動スケジュール生成の検討-家庭エネルギー消費量・CO <sub>2</sub> 排出量の推計精度の改善にむけて 坂本 将吾((一財)運輸政策研究機構 運輸政策研究所)	pp.139~144	廃棄物	吉田 好邦 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
13:45~14:00	10 模擬生ごみからのエタノール発酵と有機酸生成特性 大森 将希(新潟県立上越総合技術高等学校環境土木科)ほか	pp.145~150		
14:00~14:15	11 PETボトル収集量の規定要因に関する定量分析-大阪府市町村の悉皆調査に基づいて 稲岡美奈子(京都大学大学院地球環境学舎)ほか	pp.151~156		
14:15~14:30	12 廃蛍光管収集方法が水銀回収率に与える影響に関する実証研究-埼玉県を事例として 杉山智春(芝浦工業大学大学院理工学研究科)ほか	pp.157~162		
14:30~14:45	13 ごみ焼却施設更新に係るごみ処理広域化施策の効果要因分析-兵庫県を対象として 伊川 純慶(大阪大学大学院工学研究科)ほか	pp.163~168		
14:45~15:00				
15:00~15:15				
15:15~15:30				
15:30~15:45				
15:45~16:00				
16:00~16:15				
16:15~16:30				

**研究者交流会 (17:00頃~18:30<予定>)**

C会場

※当日の座長は変更になる可能性もあります。

10:00	受付開始			
10:25	委員長開会挨拶 (A会場)			
		(掲載頁)	セッションテーマ	座長
10:30~10:45	1 富士登山者の登頂断念と高山病症状 山本清龍(岩手大学農学部共生環境課程)	pp.169~174	緑地管理・景観 認知-1	小林 昭裕 (専修大学経済学 部)
10:45~11:00	2 成熟期を迎える戸建て住宅地の緑地管理に関する緑地協定制度の運用実態と課題につ いて 西原 博志(三正一級建築士事務所)ほか	pp.175~180		
11:00~11:15	3 景観指数を用いた上海市における都市緑地の時空間ダイナミクスに関する研究 都日娜(鳥取大学連合農学研究科)ほか	pp.181~186		
11:15~11:30	4 過疎地域における不在村者による小規模森林の所有状況について 片野 洋平(鳥取大学農学部生物資源環境学科)	pp.187~192	緑地管理・景観 認知-2	高山 範理 (独)森林総合研 究所)
11:30~11:45	5 土壌観察が及ぼす生理的および心理的効果の指標の検討 羽生 一予(筑波大学大学院生命環境科学研究科)ほか	pp.193~198		
11:45~12:00	6 メッシュカウチを用いた森林内仰臥姿勢がもたらす療法効果に関する研究 野中 裕介(株)住友不動産リフォーム)ほか	pp.199~202		

環境情報科学ポスターセッション (11:00~13:00 2Fロビーにて)

13:00~13:15	7 都市近郊農村における圃場整備の進捗具合が住民の景観変化の意識に与える影響-三 重県松阪市朝見地区を事例として 萩原 和(名古屋大学大学院環境学研究所)ほか	pp.203~208	緑地管理・景観 認知-3	伊藤 弘 (筑波大学大学院 人間総合科学研 究科)
13:15~13:30	8 路地における鉢植えの緑の設置状況と居住者意識 水上 象吾(佛教大学社会学部公共政策学科)	pp.209~214		
13:30~13:45	9 ドイツブリッツ馬蹄形集合住宅の中庭における緑に対する居住者意識 小木曾 裕((株)URリンケージ)	pp.215~220		
13:45~14:00	<b>総合討論 (No. 7, 8, 9)</b> <b>テーマ: (仮) 住環境の緑と居住者</b>			
14:00~14:15	/			
14:15~14:30	10 食品の放射性物質汚染に関わる消費者の情報収集活動の現状-首都圏と関西圏におけ るアンケート調査に基づいて 吉野 章(京都大学大学院地球環境学学)ほか	pp.221~226	環境汚染	坪井壘太郎 (日本大学理工学 部)
14:30~14:45	11 東日本大震災の津波によるアカガイ漁業への影響-宮城県閑上地区の事例として 渡邊 一仁(宮城県水産技術総合センター)	pp.227~232		
14:45~15:00	12 大気へ排出された粒子状物質成分の沈着による土壌汚染の可能性の検討 小林 剛(横浜国立大学大学院環境情報研究院)ほか	pp.233~236		
15:00~15:15	13 モンゴル国ドンドゴビ県で2009年~2010年に発生した自然災害と牧畜民の対処行動 中村 洋(法政大学大学院政策科学研究科)	pp.237~242	気候変動	藤稿亜矢子 (公財)世界自然 保護基金ジャパン)
15:15~15:30	14 適応関連資金供与における異なるスキームの定性的比較分析 久保田 泉(独)国立環境研究所社会環境システム研究センター)	pp.243~246		
15:30~15:45	15 REDD+に関わる制度間の相互作用とその管理-カンボジアとラオスの事例より 森田 香菜子(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)ほか	pp.247~252		
15:45~16:00	16 名古屋市内の住宅市街地の地表面温度分布にもとづく空間特性 小林 利夫(明星大学大学院理工学研究科)ほか	pp.253~258	微気象・ヒート アイランド	平野勇二郎 (独)国立環境研 究所)
16:00~16:15	17 気象データの統計的分析による局所的な夜間冷気流入の有無の判別-交野市私市の場合 森本 太一(大阪市立大学大学院工学研究科)ほか	pp.259~264		
16:15~16:30	18 木製外装を施した建物模型を用いた建物内外の熱負荷抑制の評価 荘保 伸一(越井木材工業(株))ほか	pp.265~270		

研究者交流会 (17:00頃~18:30<予定> B会場にて)

D会場

※当日の座長は変更になる可能性もあります。

10:00	受付開始			
10:25	委員長開会挨拶 (A会場)			
		(掲載頁)	セッションテーマ	座長
10:30~10:45	1 生物多様性保全活動に対する企業の参加・定着条件と展開方向に関する研究 山下 良平(石川県立大学生物資源環境学部)	pp.271~276	市民参加・協働-1	籠 義樹 (麗澤大学経済学部)
10:45~11:00	2 市民参加による外来種マルハナバチのモニタリング活動を通じたトマト生産者によるモラル・ハザード抑制の可能性 西村 武司(滋賀大学環境総合研究センター)	pp.277~282		
11:00~11:15	3 地熱発電開発に対する地域における社会的受容性の要因分析—柳津西山地熱発電所と小国地熱発電所計画を事例として 上地 成就(東京工業大学大学院総合理工学研究科)ほか	pp.283~288		
11:15~11:30	4 4資本モデルに基づく道州を単位とする持続可能性評価 永野 亜紀(元九州大学大学院比較社会文化研究院)	pp.289~294	環境評価	杉本 卓也 (千葉商科大学政策情報学部)
11:30~11:45	5 環境アセスメントの代替案検討手法(主成分分析と階層分析法・加重総和法)の比較 上條 哲也((独)国際協力機構)	pp.295~300		
11:45~12:00	6 都道府県EMSの推移・取組に関する研究 美濃英雄(長崎大学大学院生産科学研究科)ほか	pp.301~304		
<b>環境情報科学ポスターセッション (11:00~13:00 2Fロビーにて)</b>				
13:00~13:15	7 Actual Situation of Management and Future Problems of Reclamation on Inland Salt-affected Soils in Thailand ボンウィチアン バイラック(Land Development Department, Thailand)ほか	pp.305~310	国際・開発援助	三原真智人 (東京農業大学地域環境科学部)
13:15~13:30	8 ラオス南部における土地利用権移転の規定要因の分析 浅野悟史(京都大学大学院地球環境学舎)ほか	pp.311~316		
13:30~13:45	9 近年における国・国際機関による持続可能性指標の展開 山下 潤(九州大学大学院比較社会文化研究院)	pp.317~322		
13:45~14:00	10 国際開発援助におけるコミュニティ型水供給設備の受容要因に関する研究 塚 正年((株)オオバ)ほか	pp.323~328		
14:00~14:15	11 啓発的ネット利用が学生に与える自己啓発効果の分析 尾関 邦義(創価大学大学院工学研究科)ほか	pp.329~334	環境と情報	關 正貴 (日本大学生物資源科学部)
14:15~14:30	12 インターネットツールのコミュニケーション利用が対話力に及ぼす影響に関する研究 廣田 智明(創価大学大学院工学研究科)ほか	pp.369~374		
14:30~14:45	13 都市と農村におけるSNS利用者の地域意識に関する研究 鬼塚健一郎(京都大学大学院農学研究科)ほか	pp.335~340		
14:45~15:00	14 情報環境におけるテクノ依存症傾向の新型うつ傾向に及ぼす影響に関する研究 坂部 創一(創価大学工学部)ほか	pp.341~346		
15:00~15:15				
15:15~15:30	15 都道府県レベルで見た農村における女性参画状況についての統合指標の検討 松本文子(神戸大学自然科学系先端融合研究環)	pp.347~350	市民参加・協働-2	瀬沼 頼子 (昭和女子大学人間社会学部)
15:30~15:45	16 農村部における市民活動団体の自立と協働を促す提案型活動助成制度の役割と課題—南房総市市民提案型まちづくりチャレンジ事業の運用成果の検証を通じて 青木 秀幸(NPO法人トージバ)ほか	pp.351~356		
15:45~16:00	17 環境基本計画の策定における協働の成果と改善—愛知県日進市を事例として 小野 聡(東京工業大学大学院総合理工学研究科)ほか	pp.357~362	市民参加・協働-3	朝日ちさと (首都大学東京都市教養学部)
16:00~16:15	18 アダプト・プログラムによる公有未利用地の住民利用に関する研究—千葉県習志野市の道路事業による公有未利用地を事例として 青木 和也(千葉工業大学大学院工学研究科)ほか	pp.363~368		
16:15~16:30				
<b>研究者交流会 (17:00頃~18:30&lt;予定&gt; B会場にて)</b>				

## ◆◆ 第10回 環境情報科学ポスターセッション 発表一覧 (予定) ◆◆

- ・福島県赤井谷地湿原における泥炭量と炭素埋蔵量の把握 松田 慎吾(日本大学大学院生物資源科学研究科)ほか
- ・不耕起冬期湛水栽培・有機栽培が土壌中の肥料成分および水稲の収量に及ぼす影響 芹澤 涼(日本大学大学院生物資源科学研究科)ほか
- ・清掃工場におけるメタン発酵を用いたバイオマス利用の研究 西本 俊一(芝浦工業大学大学院建設工学専攻)ほか
- ・房総半島における底生動物群集による河川環境評価 村上 和仁(千葉工業大学工学部生命環境科学科)ほか
- ・富栄養化湖沼における各種底泥処理効果の野外設置型モデルエコシステムによる比較検討 吾妻 咲季(千葉工業大学工学研究科生)ほか
- ・防災対策としての家庭用太陽光発電システム導入への意識変化に関する研究 丹治 三則(慶應大学環境情報学部)ほか
- ・水環境制御下における作物起源弾性波の検出に関する研究 上野 由樹(新潟大学大学院自然科学研究科)ほか
- ・直流給電導入によるエネルギー削減効果の試算と普及に関する課題 分林 裕貴(芝浦工業大学大学院建設工学部専攻)ほか
- ・屋敷林の夏季暑熱環境緩和効果に関する実測研究 神尾 奨(明星大学理工学部環境生態学系)ほか
- ・都市計画用途地域・土地利用別にみた都市内植生の分布に関する研究ー防災機能に着目して 竹中 梓(和歌山大学大学院システム工学研究科)ほか
- ・工場用地・低未利用地の分布特性ならびに緑化に関する研究 山神 勲(和歌山大学大学院システム工学研究科)ほか
- ・一般機械産業におけるグリーンサプライチェーンマネジメントと企業パフォーマンスの因果関係分析 孫 穎(横浜国立大学国際社会科学研究院)ほか
- ・高分解衛星画像を用いた水都の地形構造と緑地分布の特性分析ー我が国と欧州の都市を対象として 外村 剛久(法政大学大学院デザイン工学研究科)ほか
- ・低炭素社会に向けた環境配慮型商品購入に対する消費者行動の影響要因分析 松澤 玲美(横浜国立大学経営学部経営システム学科)ほか
- ・土石系資源のマテリアルストック・フロー分析に用いる基盤情報の整備 奥山 聡俊志(名古屋大学工学部社会環境工学科)ほか
- ・総物質関与量を用いたコンクリート塊の循環利用の評価 光崎 貴洋(名古屋大学工学部社会環境工学科)ほか
- ・衛星夜間光と合成開口レーダを用いた建築物の空間分布の推計 黒田 将平(名古屋大学工学部社会環境工学科)ほか
- ・筑波研究学園都市公務員宿舎における緑環境の変遷 小森 美咲(筑波大学大学院システム情報工学研究科)ほか
- ・夏期実測データに基づく事務所ビルのエネルギー消費特性の考察 尾崎 平(関西大学環境都市工学部都市システム工学科)ほか
- ・水源涵養機能の維持と土砂流出抑制のための森林施策計画の立案と評価に関する研究 中島 綾一郎(慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科)ほか
- ・渡り鳥の移動経路のリアルタイム公開とSNSを活用した情報収集 孫 可冀(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)ほか
- ・富士山における環境資源管理の構造分析 山本 健太郎(東京工業大学大学院総合理工学研究科)ほか
- ・都市草本植生の評価手法～多様性から捉える 平川 幸子(横浜国立大学 環境情報学府)ほか
- ・建築物と道路の建設・維持管理における資源投入原単位の定量化 長谷川 正利(名古屋大学大学院環境学研究科)ほか
- ・荒川流域における水防建築の再発見と都市化の影響 青木 秀史(日本大学理工学研究科海洋建築工学専攻)ほか
- ・ドイツの電力市場の現状と課題が日本の電力市場の自由化にもたらす含意ー再生可能エネルギーの普及と持続性の観点より 片谷 鉄平(東京工業大学大学院理工学研究科)ほか
- ・六郷用水(丸子川), 二ヶ領用水の流路変化と流域環境構造の変遷の関連性に関する研究 志摩 圭介(慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科)ほか
- ・宮城県気仙沼市舞根地区の津波浸水域における陸水生物相 樋口 陽平(慶應義塾大学総合政策学部)ほか
- ・都市環境の評価や制御のための天空率詳細分布算出システムの提案 西尾 尚子(首都大学東京都市環境科学研究科)ほか
- ・自然環境と漢字を関連させた映像教材の実施に関する研究ー中学生を対象とした教科時間外における活用 瀧田 佳苗(東京大学大学院新領域創成科学研究科)ほか
- ・新疆ウイグル自治区におけるウイグル族の住文化保全に関する研究ートルファン市の歴史文化保全地区とトルファンエコシティ(新区)を対象にして スピナ ハイレット(首都大学東京大学院都市環境科学研究科)ほか
- ・ブータン王国における, SMART (Sustainably Managed Agro-ecosystem and Rural Terrain) Village の実現に向けたプロジェクト 福井 弘道(中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター)ほか